



カケハシ・プロジェクト（派遣プログラム）の記録 対象：アメリカボウル（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、アメリカボウル大会成績上位の日本の高校生および引率者計 11 名が米国へ派遣され、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2019 年 8 月 15 日～8 月 22 日の日程でプログラムを実施しました。

一行は、地域住民や高校生との交流で日本の魅力を発信し、視察先では米国や日米両国の関係について理解を深めました。プログラム中、各々の関心事項や体験について SNS を通じて積極的に対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、カケハシ・プロジェクト同窓生と合流し、訪米経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加団体・人数】

慶応義塾高等学校：3 名（高校生）

開成高等学校：2 名（高校生）・1 名（引率者）

開智未来高等学校：3 名（高校生）

日米協会：2 名（引率者）

【訪問地】

ワシントン D.C., バージニア州

2. 日程

8/15(木)	【到着】 【視察】合衆国海兵隊記念碑, リンカーン記念堂, 第二次世界大戦記念碑, トーマス・ジェファーソン記念堂, 朝鮮戦争戦没者慰霊碑 【オリエンテーション】
8/16(金)	【視察】ジョージタウン大学 【視察】アメリカ合衆国議会議事堂, 国立公文書館 【交流・歓迎会】マロット日米協会ワシントン DC 元理事長宅
8/17(土)	【交流】ヘイフィールド・セカンダリースクール, トーマス・ジェファーソン高校 【視察・交流】バージニア州アレクサンドリア市ファーマーズマーケット, アーリントン・カウンティ・フェア, 国立美術館（現地高校生との見学や日本文化の紹介）
8/18(日)	【視察】クライストチャーチ 【視察】マウントバーノン
8/19(月)	【ワークショップ(報告会準備)】

	【講義】 日系アメリカ人収容体験講話 【視察】 全米日系米国人記念碑 【企業訪問】 経団連米国事務所 【視察】 ワシントン DC 日米協会
8/20(火)	【ワークショップ(報告会準備)】 【表敬訪問】 在アメリカ合衆国日本国大使館 【成果報告会/カケハシ・プロジェクト同窓会】
8/21(水)	【出発】
8/22(木)	【帰国】

3. プログラム記録写真



8/16【交流】マロット日米協会ワシントン DC 元理事長宅



8/17【交流】ヘイフィールド・セカンダリースクール, トーマス・ジェファーソン高校生徒とともに日本文化紹介 (アーリントン・カウンティフェア)



8/19【講義】日系アメリカ人収容体験講話



8/19【企業訪問】経団連米国事務所

	
<p>8/19【視察】ワシントン DC 日米協会</p>	<p>8/19【ワークショップ（報告会準備）】</p>
	
<p>8/20【表敬訪問】在アメリカ合衆国日本国大使館</p>	<p>8/20【成果報告会／カケハシ・プロジェクト同窓会】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 私はこのプログラムを通して特に印象に残ったことが3つあります。一点目は、日本の魅力をアメリカ人に積極的に発信できたことです。以前参加した短期留学では、語学力や知識の不足が原因で日本の魅力を上手く伝えられませんでした。しかし、今回は自分が高校生日本大使として日本の魅力を伝えられるよう、事前に日本文化や日本の政治について調べ、魅力発信につながるための絵巻物を作って臨むことができました。現地では、これらの事前学習を活かしながら交流することができました。作成した絵巻物は、現地のカウンティフェアの日本文化発信ブースに展示していただきました。また、視察先の美術館では、日本画とその絵が描かれた背景文化を説明する機会をいただくことができました。私の説明に現地の高校生は毎回目を輝かせて聞いてくれて、日本の魅力を改めて感じることができました。二点目は、アメリカ人の価値観を知ることができたことです。アメリカボウルを通して、アメリカの基本的な知識を学んで参加したので、博物館等での視察では、より深いものを感じられた気がします。また、グループリーダー（アメリカ人）に積極的にアメリカ人の考え方について質問しました。例えば、「アメリカ人にとって“自由”とは何か」です。こういった質問はなかなか個人旅行ではできないため、大変貴重な機会となりました。三点目は、日本を世界から見つめている方々、海外で活躍されている方々のお話を聞く機会を得たことで、日本と自分自身を新たな視点から考えることができたことです。外交官やアメリカで勤務されている方の話

を聞くことで「なぜ日本文化が世界でも人気が高いのか」や日本の魅力発信に多くの方々から尽力されていることを知りました。また、お話しをして下さったすべての方々から自分自身を海外で挑戦させた勇気やそれまでの努力を感じました。それらの方々是我的憧れの将来像となり、これまで以上に自分の将来キャリアに向けて努力していきたいと思いました。また、男性だけでなく、女性のお話しも多く聞けたことは、私にとって、女性でも十分に活躍できる環境があることを知る良い機会となりました。

◆ 私にとっては今回が初めてのアメリカ滞在でした。そのため、見るもの全てが新鮮で印象に残るものでした。しかし、特に印象深かった3つのことについてお伝えしたいと思います。まず1つ目は「食」に関してです。もちろん日本とは全く異なるものであるとは思っていましたが、想像していた以上に「食」の違いが大きく驚きました。量はもちろん味付けも大きく異なっており、比較的日本人にも馴染みの深い国であるアメリカでも、食文化の差異は極めて大きいということを実感しました。また、逆に、日本食（和食）の繊細さや食材の豊富さにも改めて気づき、もっと日本食の良さを海外にも発信していきたいと思いました。2つ目は現地の高校生との交流です。海外の同世代の人達が日本に抱くイメージを知るだけでなく、彼らの生活や意識についても学ぶところが多くありました。特に自分と同世代なのにも関わらず、しっかりと夢や目標を持っている人が多いと感じました。また、日本について以外と知られていないことが多く、逆に私もアメリカに行ってみて初めて見たり、気付くものが多かったので、まだまだお互いの国を良く知る必要があると思いました。3つ目はアメリカ人の自由や平和への強い意識、気持ちです。プログラム中に、リンカーン記念堂、トーマス・ジェファーソン記念堂、朝鮮戦争戦没者慰霊碑、第二次世界大戦記念碑など、ワシントン市内の様々な記念碑や建築物を訪れることができました。しかし、日本でこのような政治の中心都市に、戦争や自分たちの歴史を記録する建築物はこれほどたくさんあるようには思えませんでした。これは日本と比べてアメリカの人々は自由や平和を勝ち取ったという意識が強いからだと思います。特に朝鮮戦争戦没者慰霊碑で見られた”Freedom is not free”の言葉通り、現在の平和は多くの人々の犠牲の上にあるのだという意識が強いということを感じました。来年には東京オリンピックも控えており、今後より海外との交流が盛んになっていく日本で、自分達のことを知ってもらうには、まず自分達のことを自分自身で知る必要があります。そのためにもこのようなアメリカ人達の歴史（自由や平和を勝ち取る歴史）に対する意識というのは極めて有用であるように思いました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 学校交流参加学生

日本人の生徒達は英語がとても堪能で、日本語があまり流暢でなくても、とても簡単にコミュニケーションをとることができました。全体として、日本やアメリカの文化やライフスタイルについてとても深く有益な会話をすることができ、彼らの毎日の学校生活を垣間見ることができました。国立美術館の日本の展示では、日本の絵画や文化のフロアを何人かで見て回りました。動物の形の壺や、美しく描かれたタペストリーなどの

展示の意味について彼らと話したことは、今までにない貴重な経験でした。彼らと過ごした時間は、思い出深いだけでなく、とても楽しいものであり、友達になった日本人の生徒達とはこれからずっと友情を継続させたいと感じています。

◆ 学校交流参加学生

私は同じグループの2人の生徒と、とても短い時間の中でたくさん話題について話すことができました。最初は日本の食べ物や訪問したい都市など、おもしろいことや気軽な内容について話しました。嬉しいことに、私達のような若い未来のリーダー達がどのように様々な国の溝を埋めることができるかといった真面目な話題についても世界におけるアメリカと日本の視点から、話し合うことができました。もっとも、そのようなことができたのは、彼らのとても素晴らしい英語力のおかげです。国際政治について話すことは、英語を母語とする人にとっても難しいことなので、カケハシの参加者達の英語力や情熱、互いの国についての興味には驚かされました。アメリカや世界、そして日本や東アジアの国々の今の政治を考えた時、世界の未来について悲観的になるのは簡単です。しかしカケハシ参加者達と話した後、未来の世代の私達はもっと思慮深く、良く話し合うことができると前向きに考えるようになりました。

6. 参加者の対外発信

 <p>112358taku6 I'm really enjoying this visit to Washington D.C. as a member of #kakehashi project! There are so many differences between Japan and US, but this time I will write two points that I especially felt the differences.</p>	 <p>jazzandmoodさん他が「いいね！」しました</p> <p>miyu047 Kakehashi ③ ~Discover 🇯🇵 in 🇺🇸~ アメリカのカウンティフェアで日本の魅力を発信してきました😊アメリカ人高校生がけん玉やお箸を体験しました。みんなとても上手だった～！ 日本美術展を見た際には、作品とその形成背景の文化の紹介をしました！これからもより多くの方が日本の美しい文化に興味を持ってくれたら嬉しいなあ～ I found a lot of Japanese culture, foods, people who like our country and so on in America!! As a Kakehashi student, I tried to tell attractiveness of Japan in America as much as I could. Hope my</p>
<p>カケハシ・プロジェクトについての発信 (Instagram) 8月15日から22日までの一週間、カケハ</p>	<p>視察・交流についての発信 (Instagram) アメリカのカウンティフェアで日本の魅力を発信してきました。アメリカの高校</p>

<p>シ・プロジェクトの一環としてワシントン D.C. を訪問させていただきました。初めてのアメリカ滞在でしたが、日本とアメリカとの様々な違いが実感できました。特に驚いたのはまず食事です。その量には本当に驚きました。また、ワシントン D.C. 市内の多くの記念碑を見ていて感じたのは、アメリカ人の「現在の自由、平和は多くの犠牲の上にある」というような歴史への意識です。これからより一層国際化していく日本も参考にすべきところが多くあると思いました。</p>	<p>生がけん玉やお箸を体験しました。みんなとても上手でした。日本美術展を見た時には、作品とその形成背景の文化の紹介をしました！これからもより多くの方が日本の美しい文化に興味を持ってくれたら嬉しいです。</p>
---	---

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	<p>What you learn at school is not always useful in your life.</p> 
<p>慶応義塾高等学校</p> <p>1) SNS での発信</p> <p>Twitter, Instagram, Facebook 等を用いて海外の人向けに日本について発信するとともに、日本人にも海外の文化や価値観を伝える。</p> <p>2) クイズ大会の実施</p> <p>学校の生徒を対象にアメリカに関するクイズ大会を開催して、アメリカへの関心を高める。</p>	<p>開成高等学校</p> <p>草の根交流を続け、日本に興味を持ってもらうような取り組みをする。サマースクール報告会で、今回の私たちの経験を伝える。ラグビーワールドカップや東京オリンピック 2020 が間もなく開催される。私たちの学校は、浅草や谷中銀座に近いので、日本に来る海外からの観光客の方々のためにお手伝いや道案内をする。また、私たちと同じように研修プログラムで来日する人たちとの交流を行う。</p>



開智未来高等学校

アメリカ人学生と日本人学生それぞれがポップカルチャーから政治に至るまで様々なテーマの意見交換を目的としたウェブサイトの作成・運営をする。Instagramなどで広報をしつつ、意見を発信することによって自国理解が深まり、魅力を発信し、より多くの二国間の交流を深めて架け橋となるきっかけをつくる。